

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（文学研究の基礎）

- 1.
- (1) pastoral
- (2) picaresque novel
- (3) Deism
- (4) pastiche
- (5) Jazz Age
- (6) Jacob
- (7) Easter Rising
- (8) Utilitarianism
- (9) Ruskin, John
- (10) Pilgrim Fathers
- (11) Jack the Ripper
- (12) Revelation
- (13) Dionysus (Bacchus)
- (14) Homer
- (15) Sublime
- (16) Seven deadly sins
- (17) Fabian Society
- (18) Sonnet
- (19) Rousseau, Jean-Jacques
- (20) Johnson, Samuel

2.

A movement in art and literature led by the poet Andre Breton, who published the Surrealist Manifesto in Paris in 1924. Influenced by Freud, the surrealists emphasized above all the importance of the subconscious. Dream, instinct, and unexplained juxtaposition could offer routes to a new kind of awareness.

A revival movement in the Roman Catholic Church designed to combat the spread of the Protestant Reformation and to address abuses within the church. Central to this project were the decrees of the Council of Trent, which set out to clarify doctrine and institute measures of reform.

A novel about the education and development of the young hero. Well-known examples are Goethe's *Wilhelm Meisters Lehrjahre* and Flaubert's *L'Education sentimentale*.

A technique used in some twentieth-century fiction to convey the complex flow of unorganized impressions, thoughts, and feelings that make up the individual's awareness of and response to the surrounding world. James Joyce's *Ulysses* provides some celebrated examples of its use.

The chalice from which Jesus drank at the Last Supper and in which Joseph of Arimathea was said to have caught some of his blood at the crucifixion. It became the supreme object of quest for the Arthurian knights.

A collection of Jesus's teachings which Matthew 5-7 presents as a sermon delivered by Jesus on a mountainside in Galilee, opening with the Beatitudes. Many phrases that are now part of Western culture have their origin here.

A list of books accepted as authoritative. The books included in the Bible are thus part of the biblical canon. In English studies, the term has come to refer to those texts and authors generally regarded as central to the history of English literature. The term can also be used of texts known to have been written by a particular author. *King Lear*, for example, is part of the Shakespeare canon.

The therapeutic release of emotion that Aristotle took to be a central effect of tragedy. He argued that the play excited emotions of pity and fear, which were then purged by the tragic resolution.

英米文学 専攻 (博士前期)

試験科目: 専門科目 (イギリス文学 I)

①	著者名	作品名
A	(John Gay)	(<i>The Beggar's Opera</i> 1728)
B	(William Shakespeare)	(<i>Macbeth</i> , 1606)
C	(John Bunyan)	(<i>The Pilgrim's Progress</i> , 1678)
D	(Jonathan Swift)	(<i>Gulliver's Travels</i> , 1726)
E	(Christopher Marlowe)	(<i>Doctor Faustus</i> , 1588)

② (E) → (B) → (C) → (D) → (A)

③ A(4) B(5) C(3) D(2) E(1)

④

(1) **University Wits** (大学才人) エリザベス時代 (16世紀末) に活躍した、オックスフォード大学やケンブリッジ大学出身の劇作家・詩人の総称。彼らは古典の教養を演劇に持ち込み、イギリス・ルネサンス演劇の基礎を築いた。引用 E の作者 **Christopher Marlowe** はその代表格であり、力強い無韻詩を駆使した。

(2) **satire** (風刺) 個人の愚行や社会の欠陥、政治的腐敗などを、ユーモア、皮肉、誇張を用いて批判する文学手法。Jonathan Swift (引用 D) の *Gulliver's Travels* は風刺文学の最高傑作とされ、引用部では高潔な馬 (フウイヌム) の「理性」を称賛することで、逆説的に人間社会の非合理性や党派争いを痛烈に批判している。

(3) **dream vision** (夢物語) 語り手が眠りに落ちて夢を見、その夢の中で啓示的な体験や寓意的な物語が展開するという、中世から続く文学形式。John Bunyan (引用 C) の *The Pilgrim's Progress* は、"I dreamed a Dream" という典型的な導入で始まり、夢の中で主人公クリスチャンの魂の救済の旅が描かれる。

(4) poetic justice (詩的正義) 文学作品において、善行が報われ悪行が罰されるという道徳的因果律に基づく結末のこと。John Gay (引用 A) の *The Beggar's Opera* では、本来処刑されるべき悪党 Macheath が、観客の「ハッピーエンドが見たい」という要求によって恩赦されるという展開により、この概念がパロディ化・風刺されている。

(5) metatheatre (メタ演劇) 劇中で演劇そのものについて言及したり、芝居の虚構性を意図的に暴露したりする手法。William Shakespeare (引用 B) の *Macbeth* における独白 "Life's but a walking shadow, a poor player" (人生は歩き回る影法師、哀れな役者) は、人生の儚さを舞台上の演技になぞらえた、自己言及的 (メタ的) な表現である。

⑤ 文章の大意 (訳を挙げておくので、これに基づき、大意を提示すること)

A: (劇中の作者と役者の対話) 「あなたの反対はごもっともですが、この種の芝居では、物事がいかに不条理に運ぼうと問題ではないのです。——おい、そこの群衆、走って行って『執行猶予だ!』と叫べ。——囚人を凱旋させて妻たちのもとへ連れ戻すのだ。」

B: 明日、また明日、そしてまた明日と、記録される時の最後の音節 (言葉) に至るまで、とるに足らぬ歩みで、一日一日と時は這い進む。過ぎ去った昨日はすべて、愚かな人間が塵と化す死への道を照らしてきたに過ぎない。消えろ、消えろ、束の間の灯火 (ともしび) よ! 人生は、歩き回る影法師にすぎぬ。出番のあいだ、舞台の上で大見得を切り、思い悩むが、それが済めば、もう何の音沙汰もなくなる哀れな役者だ。それは、白痴の語る物語。響きと怒りに満ちてはいるが、何の意味もありはしない。

C: この世という荒野を歩き回っているうちに、私はある洞穴 (Denn) のある場所に行き着いた。そこで私は身を横たえて眠りについた。そして眠るうちに、私は一つの夢を見た。夢の中で——見よ、一人の男がぼろをまとい、ある場所に立っているのが見えた。彼は自分の家の方から顔を背け、手には一冊の書物を持ち、背中には大きな重荷を負っていた。私が眺めていると、彼はその書物を開き、中を読み始めた。読み進めるうちに、彼は涙を流し、わななき始めた。そして、もはやその想いを抑えきれなくなり、悲痛な叫び声をあげた。「ああ、私はどうすればよいのか!」と。

D: これら高潔なるフウイヌム（馬）たちは、生まれつきあらゆる徳へと向かう性向を自然から授かっており、理性ある被造物における「悪」がいかなるものか、その概念も観念も持ち合わせていない。それゆえ、彼らの最大の信条は、理性を涵養し、ひたすらその支配に従うことにある。また彼らにとって理性とは、我々人間の場合のように、一つの問題の賛否いずれについても尤もらしく論じ合えるような、不確定なものではない。それは、直ちに確信を迫るものである。情念や利害によって混じり合い、曇らされ、変色させられることがないならば、理性とは本来、必然的にそうあるべきものだからだ。

E: これが千隻の船を進発させ、イリウム（トロイア）の高い塔を焼き払った顔か…。愛しいヘレネよ、口づけで私を永遠にしてくれ。彼女の唇が私の魂を吸い出す、飛んでいく魂を見よ！ さあヘレネ、私の魂を返しておくれ。私はここに住もう、天国はこの唇にあり、ヘレネならざるものは、すべて塵芥（ちりあくた）に過ぎないからだ。

英米文学 専攻 (博士前期)

試験科目: 専門科目 (イギリス文学 II)

I.

1	A Gothic Story	2	Charles Robert Maturin
3	<i>The Mysteries of Udolpho</i>	4	<i>The Monk</i>
5	William Makepeace Thackeray	6	Becky Sharp
7	The Barsetshire Novels	8	ethical
9	George Eliot	10	Dorothea Brooke Mr Casaubon

11.

時代は中世からルネッサンス期、場所はイギリス以外—イタリア、スペイン、中東—など、異国風の珍しさを強調する設定とすることで、伝奇的、空想的傾向を帯びることが多い。

12.

ゴシック小説は、ヴィクトリア朝になる頃には廃れ切っていたというわけではないが、後者はゴシック小説的な怪奇、恐怖といった要素にはさほど興味を示さず、日常生活において見出すことのできる事象に題材を求めた。

II. (3) ⇒ (5) ⇒ (4) ⇒ (6) ⇒ (2) ⇒ (1)

1	a	Samuel Beckett	b	<i>Krapp's Last Tape, Happy Days, etc.</i>
c 第二次大戦後に出現した前衛的要素の強い不条理劇を代表する作品。ふたりの浮浪者 (Estragon と Vladimir) が無意味な会話を交わしつつ、現れることのない Godot を田舎道の木の下で延々待ち続け、それ以外何も起こらないという芝居。				
2	a	James Joyce	b	<i>A Portrait of the Artist as a Young Man, Finnegans Wake, etc.</i>
c ホメロスの <i>Odyssey</i> を下敷きとした散文の mock-heroic。1904 年 6 月 16 日の一日の間に、ヒーローならぬユダヤ系のしがない中年男 Leopold Bloom と彼の妻、作家志望の青年の 3 名の意識に浮上する事柄を描いた実験的小説。				
3	a	Percy Bysshe Shelley	b	<i>Prometheus Unbound, Adonais, To a Skylark, etc.</i>
c 死の前年に Pisa で書かれ、匿名で発表される。プラトニックな愛と激しく情熱的な愛の両側面を持ち、Shelley が追求し続けた美を、彼が現実で出会った様々な女性に託して描き出した自伝的な詩。				
	a	Charles Dickens	b	<i>Great Expectations, Bleak House, etc.</i>
c 義父に虐待された幼い David が作家となるまでを描いた教養小説。Dickens の自伝的要素が盛り込まれている (David の頭文字 (DC) は Dickens の頭文字(CD)の逆、お気楽な借金まみれの Mr Micawber は、Dickens の父親がモデルである)。				
5	a	Charlotte Brontë	b	<i>Shirley, Vilette, etc.</i>
c 孤児 Jane が慈善学校卒業後、家庭教師先の主人 Rochester に求婚されるも、彼の妻 (植民地出身の狂女) Bertha の存在が発覚。Bertha の死によって最終的に Rochester と結ばれるまでの半生を、成長した Jane が語るという形式をとる。				
6	a	Joseph Conrad	b	<i>Lord Jim, Nostromo, Under Western Eyes, etc.</i>
c 語り手 Marlow が、アフリカの奥地の原始的な社会で神のごとく崇められる伝説的人物 Kurtz の死に際に行きあわせ、帝国主義の暗部を暴露するような彼の最期の言葉 (horror, horror, horror!) を耳にした体験を語る入れ子構造の物語。				

*b,cについてはここに挙げたものに限らない

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（アメリカ文学）

作者名	作品名
1 T. S. Eliot	<i>The Waste Land</i>
2 Edgar Allan Poe	“Philosophy of Composition”
3 Jack Kerouac	<i>On the Road</i>
4 Henry James	“Beast in the Jungle”
5 Arthur Miller	<i>Death of a Salesman</i>
6 Allen Ginsberg	“Howl”
7 Walt Whitman	“Preface to <i>Leaves of Grass</i> ”
8 Nathaniel Hawthorne	<i>The Scarlet Letter</i>
9 Ralph Ellison	<i>Invisible Man</i>
10 Benjamin Franklin	<i>The Autobiography</i>

II

解答例

- 1) 奴隷体験記のことで、アメリカ合衆国のみならず各国で奴隷にされたアフリカ人の記録から生まれた文学形式。18世紀から19世紀にかけての元奴隷が自身の体験を語ったもので、フレデリック・ダグラスの作品が有名。
- 2) 元来のゴシック小説と異なり、社会問題を掘り下げたり、アメリカ南部の歴史的・文化的な雰囲気をも明らかにするためにゴシック的要素を入れた小説。グロテスクな要素にみちていることが一つの特徴で、ウィリアム・フォークナーなどがその典型。
- 3) 大規模な信仰復興運動で、1730年代から繰り返されてきた。第一次覚醒運動ではカルヴァン主義の神学者ジョナサン・エドワーズが中心となった。また、今日の基督教のメディア展開、アメリカ特有の宗教動態など、社会制度や文化への影響を基礎づけた。
- 4) 19世紀中流家庭の理想的母親像。産業革命の影響で女性に「家庭の天使」としての役割が期待され、男性は外で働き、女性は家庭を守るという明確な役割分担が確立された。オルコットの『若草物語』に描かれる女性にはそれに抵抗しようとする姿が描かれる。
- 5) 20世紀初頭以後の文学には、従来の写実的な手法を否定して、前衛的・実験的な表現が追求された。意識の流れに代表される特殊な内面描写、都会生活の活写、断片的な形式のなどがその特徴で、T.S.エリオットの『荒地』などがその代表例。

英米文学専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（英語学）

- I
- (1) ヴァイキングの言語で、ケルト語派、イタリック語派、ヘレニック語派などからなるインド・ヨーロッパ語族のうちのゲルマン語派のひとつ北ゲルマン語に属し、後にデンマーク語、スエーデン語、ノルウェー語、アイスランド語などに分かれていった。(図は省略)
 - (2) 古英語はthe period of full inflections、中英語はthe period of levelled inflections、近代英語はthe period of lost inflectionsと特徴づけられ、徐々に語尾屈折がなくなっていった。
 - (3) 古ノルド語からの借用語は下線部にあげられているような日常語が中心であったのに対し、古英語期の後半にラテン語から英語に入った借用語はcloister, prophet, history, cancerなど、文献から入った宗教的・学問的な単語が多かった。
 - (4) 口蓋化とは、軟口蓋で発音される子音の/sk/が硬口蓋の/ʃ/で発音されるようになることである。古ノルド語では起こらず、古英語で生じた。例としては、古ノルド語由来のskirtに対する古英語起源のshirtなどがある。
 - (5) hostelとhotelを例にとると、前者は子音の前のsを留めていたノルマン地方のフランス語(NF=Norman French)からの借用語であるのに対し、後者は子音の前のsが消失したパリ中心のフランス語(CF=Central French)から英語に入ったものである。同じような例として、AN起源のwarrantyと語頭の/w/を避けるようになったCF由来のguarantyがある。
 - (6) 3層の同意語(synonyms at three levels)とは、英語の同義語には由来による特徴が存在し、ゲルマン語起源は民衆的(popular)、フランス語起源は文学的(literary)、古典語(ラテン語)起源は学問的(learned)という3つのレベルがあることを意味する。例としては、rise/mount/ascent, fire/flame/conflagration, time/age/epochなどがある。

II

ME (参考訳)

四月の快いにわか雨が
三月の乾きに耐えた草木の根に染み込んで、
樹液となって葉脈を満たすと、
その働きによって花が綻び、
(笹本長敬訳、『カンタベリー物語 (全訳)』、英宝社、3頁)

OE (参考訳)

いかにも彼らは、「槍の」デネの 過去における
国王たちの 栄光を伝え聞いた、
貴人らが 武勇の業をなした次第を。
(苅部恒徳、小山良一編著、『古英語叙事詩ベーオウルフ対訳版』、研究社、1頁)

英米文学専攻（博士前期）

試験科目：第一外国語（英文和訳）

(1)

(2)

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：第一外国語（和文英訳）

（1）

Given the historical context in which immigrants fled religious and political persecution in the Old World and pursued freedom, equality, and independence in the New World, American literature, reflecting these circumstances, ostensibly came to celebrate “democracy,” the principle of equality that rejects a class-based society, and economic independence and stability—elements not found in the Old World—in short, the “American Dream.”

（2）

Thus, a sense of rootlessness has always existed at the bottom of the American consciousness, and as a result, loneliness, alienation, and a restless search for belonging have become major themes of American literature.

（3）

This condition is, in fact, a phenomenon shared by many people in the modern world. Although we once lived on the ancestral lands, we have moved to large cities as a result of urbanization and become uprooted. It is in this respect that we can discern the modernity and universality of American literature.

英米文学専攻（博士前期）

試験科目：第二外国語（仏文和訳）

